

神戸・甲陽音楽&ダンス専門学校

科目シラバス

科目名	コンピュータミュージック (DTMベーシック)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	
学科	音楽クリエイター科	授業形態	演習	総時間	120	開講区分	前期
<p>【授業の学習内容】DAWの基本的使い方からトラックメイカー的目線でのアレンジ技法を習得する為に分析と実践を行い各自のスキルアップを目指す。授業内ではCubaseやAbleton Liveなどを併用し進めるが提案された課題スキルを各自使用しているDAW状で使えるよう常に考えながら講義を受けること。</p> <p>【実務者経験】10年以上現役でJ-pop・K-popの作曲編曲活動を行なっている。作家事務所obeliskと業務提携し、TWICE、2PM、E-girls、ジャニーズWESTなどへ楽曲提供。</p> <p>【到達目標】コンペ案件などでの様々なリクエストに対応出来るよう出来るだけ多くのスキルを身につける。</p>							

授業計画・内容	
1週目	基本操作、ドラム音源の仕組み、ドラムの打ち込みが出来るようになる
2週目	コードの仕組みを理解し素早く打ち込むことが出来るようになる
3週目	ベースやギターの入った楽曲を元に素早く構成を作れるようになる
4週目	HIPHOPなどのコードがループしている楽曲構成を素早く作れるようになる
5週目	シンセサイザーの仕組みを理解し簡単な音色などは自分で作れる様になる
6週目	アルペジエーターを学び楽曲に彩りを加えられるようになる
7週目	Pad,bell,stringsなどを使って曲に華やかさを加えられるようになる
8週目	参考音源を使ってオートメーションを学び曲に変化を加えられるようになる
9週目	SEについて学び楽曲を派手に聴かせられるようになる
10週目	サンプリングを取得しLoop素材などをカスタマイズ出来るようになる
11週目	トラックメイカー目線でのミックスを学び個性を出せるようになる1 (Reverse Reverb、Tape stopなど)
12週目	トラックメイカー目線でのミックスを学び個性を出せるようになる2 (音レイヤー、色々なサイドチェーン、など)
13週目	1コーラスラフデモ制作
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	ソフトのオンラインマニュアル等があれば読んでおく
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	コンピュータミュージックの基本的考えを身につける講義ですが授業内以外の質問事項も随時受け付けておりますので各自のレベルは気にせず積極的にコミュニケーションを取り合いたしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

神戸・甲陽音楽&ダンス専門学校

科目シラバス

科目名	作曲・編曲 (メロディメイク1・2)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	
学科	音楽クリエイター科	授業形態	演習	総時間	120	開講区分	前期
【授業の学習内容】コンピュータを用いたDTMスキルを基にアレンジメント及び、メロディーワークの向上を目的に授業展開をする。							
【実務者経験】 tearbridge production所属作家として、dream、玉置成実、Every Little Thing、倅田來未等のアーティストへ楽曲提供。							
【到達目標】DTM, DAWスキルを習得していく中で、メロディーの配置やアイデアの引き出し方の選択肢を増やす。							
授業計画・内容							
1週目	DTMの基本動作						
2週目	DTMの基本動作、簡易的なコードワーク上でのメロディメイク、およびアレンジ。						
3週目	DTMの基本動作、簡易的なコードワーク上でのメロディメイク、およびアレンジ。						
4週目	DTMの基本動作、簡易的なコードワーク上でのメロディメイク、およびアレンジ。						
5週目	音楽ジャンル別のアレンジに対するメロディ考察。						
6週目	音楽ジャンル別のアレンジに対するメロディ考察。						
7週目	音楽ジャンル別のアレンジに対するメロディ考察。						
8週目	メロディーワークに対するアレンジメント上での楽器構成と解説。						
9週目	メロディーワークに対するアレンジメント上での楽器構成と解説。						
10週目	メロディーワークに対するアレンジメント上での楽器構成と解説。						
11週目	オリジナル楽曲制作。						
12週目	オリジナル楽曲制作。						
13週目	オリジナル楽曲に対するクラス全体での視聴会。						
14週目	ワークショップ						
15週目	ワークショップ						
準備学習 時間外学習	コンピュータスキルに置ける基本動作の反復練習。オリジナル楽曲などの課題。課題に対するフォロー。						
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。						
受講生への メッセージ	メロディという音楽の中で最も核となる要因ゆえにそれぞれのセンスや才能をたたえ合い高め合いたい。個人的なパソコンがあると帰宅時などに作業できる時間が増え好ましい結果につながると考えております。						
【使用教科書・教材・参考書】学校のPC。							